

林業の担い手 として

常陸太田市森林組合

菊池 皓斗

私は、大子清流高校の森林科学科を卒業し、森林組合に就職しました。在職三年目になりますが、就職して間もなく、職場の上司から、これから林業の仕事をするのに必要な各種の資格も取得できるし、知識や技術も習得できる「緑の雇用」という研修があるという事を聞き受講する事にしました。今年で二年目の研修を受講することになりますが、現在、作業現場では、伐倒や集材作業を中心に仕事をしています。

私は、高校生の時に、実習でチェーンソーを使用する機会があったので、資格を取ることができましたが、学生の時に経験したチェーンソーのメンテナンスや伐倒、玉切り、枝払い作業と比べて、実際に就職してからこれらの作業は、かかり木の処理などを含めて、安全に確実に伐倒作業を行うことが出来るようになるなど、格段に技術の向上が図られたものと自負しています。

集材作業では、ウインチを使用しますが、緑の雇用事業で玉掛けの資格を取得できたので、効率よく作業を行えるようになりました。ウインチのワイヤーについても、ワイヤーの編み方を学んだので、摩耗した時は編み直し、安全な状態で使用することが出来るなど、大変役に立っています。

最後に、山仕事はとても危険な作業なので、今後も、緑の雇用の三年目研修までを受講修了し、これらの研修で学んだことを生かし、事故のないように安全な作業を心がけ、地域の森林を適正に管理し、豊かな森林になるよう取り組んでいきたいと思っています。

